

# 令和4年度 第22回 社会科課題追究学習作品展（報告）

令和4年11月  
学校支援課

## 1 作品展・表彰式について

- (1) 作品展：10月29日（土）～10月30日（日）
- (2) 表彰式：10月20日（日） 中止
- (3) 場 所：岐阜県総合教育センター

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として中止した。

- ・最優秀賞、優秀賞受賞者について、当該校を通して賞状及びトロフィーを授与した。
- ・入選の25名については、当該校を通して賞状を渡した。
- ・入賞者全員に副賞を渡した。



## 2 応募作品について

### (1) 応募・取組状況

	応募作品数				取組作品総数			
	小学校	中学校	高校	合計	小学校	中学校	高校	合計
R4	882	170	3	1055	2,305	714	3	3,002
R3	709	185	3	897	2,691	949	3	3,643
R2	201	56	4	261	317	65	202	584
R元	1,001	282	2	1,285	3,497	1,525	73	5,095
H30	1,047	261	3	1,311	3,184	1,626	10	4,820

・新型コロナウイルス感染症の広がりとともに、作品数が激減していたが、応募総数は回復傾向にある。

### (2) 作品の傾向

#### <全体の傾向>

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大対策が求められる中であったが、新しい生活様式に配慮しながら、自ら設定した課題の解決につながる調査対象に積極的にアプローチし、複数の場所を訪れるなどして比較や関連を図りながら調査活動をする姿が多く見られた。
- ・課題に対して予想をもち、何をどのように調べるべきか、見通しを具体的に立てて調査活動に取り組む様子が多くの作品から見受けられ、自らの学びを調整しながら粘り強く課題解決に取り組んでいた。
- ・「SDGs」に関連した内容を取り上げて、身近な事例に関連して、自分が身近な生活から取り組めることを考えたり、社会で働く人々に働きかけたりする作品が多く見られた。

#### <小学校低学年、中学年>

- ・学校における社会科の学習で学んだ水の行方やごみの処理のされ方について、さらに自宅の周辺から見つめ直そうとするなど、実際に歩いて様子確かめようとする作品が多く、調べる中で生まれた疑問が、さらに追究を深めている様子が感じられる。
- ・社会で働く人々や学校の仲間にアンケート調査やインタビュー調査を行って、仕事に対する認識や多くの情報から傾向をつかむなど、目的に応じた調査の仕方を進めていた。
- ・自分の住んでいる地域だけではなく、県内の様々な地域を比較しながら課題解決に取り組む作品が多く、地域的特色を明らかにしようとする学びが大切にされている。

#### <小学校高学年>

- ・古墳や身近な地域の歴史について興味をもって調べている児童が多く、積極的に現地へ足を運んで過去の様子に思いを馳せたり、自ら仮説を立てて検証しながら調べたりする作品があった。
- ・SDGsを中心に、持続可能な社会の在り方を考えようと自らの疑問の解決に挑む作品が多く、仲間や地域の人々など、他者に働きかけるとともに問題の解決を図ろうとする社会参画の姿勢が感じられる。

#### <中学校・高等学校>

- ・例年よりも歴史的事象に着目した作品が多く、自ら仮説を立てて検証したり、複数の文献を参考にして調査を進め、現地で実際の様子と比較するなど、調査活動を広げたりして取り組んでいる。
- ・これまでに自ら取り組んだ研究をさらに発展させようと視点を変えたり、過去のアプローチからの変容を検証したりして、継続的な作品が多く見られた。